

北九州貨物鐵道施設保有株式会社



# 北九州貨物鉄道施設保有株式会社

## I 法人の概要（平成 30 年 4 月 1 日現在）

### 1 所在地

北九州市門司区大里新町 11 番 1 号

### 2 設立年月日

平成 11 年 4 月 26 日

### 3 代表者

代表取締役社長 姫野 健士

### 4 資本金

400,000 千円

### 5 北九州市の出資金

196,000 千円（出資の割合 49.0%）

### 6 役職員数

	人 数			
	合 計	うち本市からの派遣	うち本市退職者	うちその他
役 員	6 人	0 人	0 人	6 人
常 勤	1 人	0 人	0 人	1 人
非常勤	5 人	0 人	0 人	5 人
社 員	2 人	0 人	0 人	2 人

### 7 市からのミッション

貨物鉄道のターミナルなど団体の保有する駅施設の貸付及び設備の維持管理を通じ、本市のさらなる物流拠点化及びCO<sub>2</sub>削減への取組みに寄与する。

## II 平成 29 年度事業実績

平成 11 年度から国の幹線鉄道等活性化事業費補助並びに北九州市の門司鉄道コンテナターミナル整備支援事業費補助を受け着手した、門司貨物拠点整備事業の設備が平成 14 年 3 月に完成し、また平成 19 年度から国の幹線鉄道等活性化事業費補助を受け着手した、鹿児島線（北九州・福岡間）鉄道貨物輸送力増強事業の設備が平成 23 年 3 月末に完成した。

これら施設の当該事業年度における維持管理は、北九州貨物ターミナル駅において、駅構内分岐器総つき固めその他工事、駅構内電車線路の一部移設工事、駅構内連絡通路橋舗裝修繕その他工事、分岐器部分交換工事（4 組）、駅構内レール交換工事、駅構内上下貨物 5 番線 4 号通路踏切修繕工事を日本貨物鉄道株式会社の施工で実施した。

当社は、鉄道施設を日本貨物鉄道株式会社に賃貸することで成り立っており、今後とも鉄道施設の維持・管理に努めていく。

当事業年度の施設使用料は、日本貨物鉄道株式会社との「鉄道施設等の使用に関する契約」に基づき、

313 百万円となり、長期借入金返済については、みずほ銀行へ 59 百万円及び日本政策投資銀行へ 136 百万円の返済を行った。

販売費及び一般管理費は 239 百万円となっている。

以上のような状況のもと、経常利益は 4,263 千円となった。

### Ⅲ 平成29年度決算

#### 1 貸借対照表(総括表)

平成30年3月31日現在 (単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流 動 資 産	(15,046)	流 動 負 債	(210,502)
現金・預金	14,418	短期未払金	30
未収入金	3	1年以内返済長期借入金	196,400
前払費用	208	未払費用	704
繰延税金資産	416	未払利息	5,544
		未払法人税等	2,187
		未払消費税等	5,636
固 定 資 産	(3,092,219)	固 定 負 債	(2,495,700)
有形固定資産	(2,033,312)	長期借入金	2,494,300
建物及び設備	359,594	役員退職慰労引当金	1,400
構築物	3,615,234		
機械・装置	46,245		
工具器具備品	854	<b>負債の部合計</b>	<b>2,706,203</b>
土地	10,503	(純資産の部)	
リース資産	1,036	株 主 資 産	(401,062)
減価償却累計額	▲2,000,156	資 本 金	400,000
無形固定資産	(941,906)	利 益 剰 余 金	1,062
電話加入権	72	その他利益剰余金	1,062
施設利用権	941,834	繰越利益剰余金	1,062
投 資 等 (	117,000)	評価・換算差額等	( 0)
長期貸付金	117,000		
		<b>純資産の部合計</b>	<b>401,062</b>
<b>資産の部合計</b>	<b>3,107,265</b>	<b>負債・純資産の部合計</b>	<b>3,107,265</b>

※金額は千円未満切り捨て

## 2 損益計算書（総括表）

自 平成29年4月 1日

至 平成30年3月31日（単位：千円）

科 目	金 額	
<b>経常損益の部</b>		
（営業損益の部）		
施設貸付料	312,664	
管理収入		312,664
販売費及び一般管理費	239,142	239,142
営業利益		73,522
（営業外損益の部）		
受取利息	1,170	
雑収入		1,170
支払利息	67,713	
補償負担金	2,716	70,430
経常利益		4,263
<b>特別損益の部</b>		
特別利益		
特別損失		
税引前当期純利益		4,263
法人税等		1,420
法人税等調整額		35
<b>当期純利益</b>		<b>2,807</b>

※金額は千円未満切り捨て

#### IV 平成30年度事業計画

当社の主たる事業は、国、並びに北九州市の補助金を受けて構築した設備を日本貨物鉄道株式会社に賃貸することであり、財産の保守、維持管理が重要となっている。

そのため、日本貨物鉄道株式会社と締結した「鉄道施設の使用及び保守に関する協定」及び「補助金で取得した財産の改良に関する覚書」に則り、定期的に使用実態の確認を行い、財産管理の徹底と、適正な保守及び維持管理に努めるとともに、健全な会社運営を維持するために効率的な資金計画を策定し、日本貨物鉄道株式会社と打ち合わせながら、着実な長期借入金の返済を行っていく。

また、わが国経済は回復基調が続くと見込まれており、物流業界においても総物流量は微増が見込まれるなか、トラックドライバーをはじめとする輸送の担い手の高齢化・人手不足が深刻化している。こうした中、社会インフラとして物流の重要性が改めて認識されるとともに、人手不足や労働時間の規制強化等からモーダルシフトの流れは続いており、鉄道貨物輸送への期待は一層高まっている。今後、この様な状況に応えるため、日本貨物鉄道株式会社と北九州市との連携を深め鉄道貨物輸送の拡大と地域の発展に寄与していく。

## V 平成30年度予算

### 1 予定損益計算書

自 平成30年4月1日

至 平成31年3月31日 (単位：千円)

科 目	金 額	
<b>経常損益の部</b>		
(営業損益の部)		
施設貸付料	298,461	
管理収入		298,461
販売費及び一般管理費	229,627	229,627
営業利益		68,834
(営業外損益の部)		
受取利息	746	746
雑収入		
支払利息	63,241	
補償負担金	2,592	65,833
経常利益		3,747
<b>特別損益の部</b>		
特別利益		
特別損失		
税引前当期純利益		3,747
法人税等		1,236
法人税等調整額		
当期純利益		2,511

※金額は千円未満切り捨て

## VI 役員名簿

平成30年7月1日現在

役職名	氏名	備考
代表取締役社長	姫野健士	日本貨物鉄道(株)執行役員九州支社長
専務取締役	小西一史	常勤取締役
取締役	大下徳裕	北九州市企画調整局長
〃	木本仁	北九州市港湾空港局長
〃	伊東了一	日本貨物鉄道(株)九州支社総括次長
監査役	木原武志	(株)みずほ銀行営業第十五部長
〃	高澤弘人	日本貨物鉄道(株)経営統括本部業務創造推進室長兼経営企画部投資計画室長

